

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWO**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙「みらい」  
NO. 4402  
23年11月28日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

## 28年間の争議支援に感謝しつつ ユニオン長崎33周年への祝辞！

おはようございます。

先月二十一日に開いた支部の結成三三周年祝賀会に遅れて届いた旧・郵政四・二八被免職者の名古屋哲一さんのメッセージを転載します。以下。

郵政ユニオン&シルバ  
ーユニオン九州・長崎様  
郵政ユニオン長崎(旧・  
郵崎労) 結成三三周年、



機関紙「未来」四〇〇号達成の十・二十一祝賀会が(コロナ禍で三年延期の後)開催。「シルバユニオン、二二・三三・五五」に、中島義雄さん筆この報告文が掲載され、初めて知った。遅ればせながら、「ともに喜び」申し上げ候。

そんなワケで、これは「お祝いのメッセージ」以上に、「遅延のお詫びとか、言い訳とか云々のメッセージ」という、超ユニークな、メッセージらしからぬ、「メッセージ」文です。

ボクら四・二八免職者は、長崎の仲間から、最大級の恩恵を受け続けてきた。こんなにもやさしさやラッキーや励ましをプレゼントされっぱなしで良いものだろうか、という程に(二十八年間の首切り撤回争議中ずっと、二〇〇七年二月の最高裁大勝利後の一年間争議解決仕上げ諸活動まで)。



それなのに、「祝賀会にメッセージひとつよこさないなんて、不義理」と思うでしょうが、その通り、いまやアチコチ不義理です。

パソコンメール通信が超長期間故障(シルバールンも未着手)、体調不良にて年賀状製作も二年連続断念、電車外出も困難等々、アチコチ不通の不義理、それなのに「そのうちなんとかなる、改善するはず」と、能天気でおチコマズにいられる不思議。

何年も何年も毎年のように、(八/六ヒロシマ)八/九ナガサキ、四・二八集会、長崎行脚・九州行脚など、忙しい中に招いてもらい、歓待してもらった。

そして「未来」への寄稿。ボクの「担当」は毎月二八日で、Eメールなどない手書き原稿の時代から何年も何年も。

郵政長崎のホームページができてからは「四・二八コーナー」も創設されて掲載。二〇〇八年一月の最後の寄稿文(長い)お手紙A四で八頁、「筋は通せた二八年争議」で、個人的な総括視点。感想とお礼)まで、中島義雄さんが根気良く、めんどろみしてくれた(レイバーネットにも掲載)。



中島さんに関して、もう一言(ホントは二言も三言もだけれど)言及し

ておかないと。数年前に中島さんが書いた長論文「郵政交流会と郵政全協と郵政全労協と郵政ユニオン」の経緯と意義は、ボクの脳ミソを「整理・学び・スッキリ」させてくれるものだった。



労戦再編(国家における労組ツブシ)のためにだされた四・二八処分、コレとの闘いだつた四・二八反処分、それを支えた類マレな現場や地域の仲間・・・率先して担い続けてくれた長崎の仲間たち。

「東京総行動」の集まりなどで、ボクはチョイチヨイ、口にしたものだが、「争議当該がバツラバラでも、ボケートとしていても、支援がしっかりして、素晴らしい人たちなら、大勝利できちゃうんだよ」。聞いていた争議団の仲間は、ホッと一安心したり、うらやましがったり。

\*\*\*  
同封のオサツは、そういうワケで、「三三周年&四〇〇号」の「お祝い」といった単純なものではなく、「プラスお礼&深謝&遅延のお詫び&不義理の謝罪&なんだかんだのペナルティ」等々いろいろ混ざったものです。

長崎の仲間のみなさん・・・故・松江國晴さんはじめ、何人も顔が浮かびますが・・・ホントにホント、お目でもどうぞ。そしてトツテモ、ありがとうございます。

二〇二三年十一月二十日  
旧「四・二八ネット」(郵政四・二八を共に闘うネットワーク)

郵政四・二八元免職者  
名古屋哲一(東京在)



※、写真は名古屋さん



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員の正社員化を。

めげず、均等待遇、なぐさみ差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！